



を続け、色の豊富さが自慢で、レギュラー色が78色あり、他にも蛍光色が数色、柄紐としてのラセン柄、石目柄、とび柄、繩目柄など配色は無数、金糸や銀糸を豊富に使った商品もありま

中田

消費者にはこれらをしてす

櫻井 はい。糸の太さも3段階あり、オリジナリティの高さと品揃えは使用者の気持ちを捉え、高い評価をいただいています。納期も短期に対応しています。景気が低迷している中、納期遅れは命取りになりかねませんから、糸商、染色工場との連携プレイで受注から納品まで時間をつけないのが、我が社の信条です。

中田 まだほかにもありますか。

櫻井 高松の竹田吉次さんが紐にゴムを入れて、ゴム紐を発明し、製品化したのは有名な話ですが、うちではゴムを入れずに

すが

うちではゴムを入れずに

した。開発には材料の選定、機械装置の改良、何百もの試作の繰り返し、その結果3年を費してようやく完成した「ゴムを使わずに伸縮する編み紐」です。ふわふわとした触感があり、ゴムアレルギーの心配もありません。それは主に果樹、野菜などに使用され、作物を傷めないし、PP繩と違い伸び縮みるので作業効率がいいと評判がいいようです。

した紐との組合せで、透明度
強度、劣化しにくい糸の選定
手軽に使って頂くためのコス
面など、苦労もあり大変でし
が、完成品を見て、諦めない
よかつたと感じています。こ
製品が髪飾りや靴紐などのよ
な身に着けるものとして使用
れ、それがいつか人命救助と
り、人の助けや役に立ち、喜
んでいただけるような商品にな
よう願っています。

し、かほく市商工会様の共催を得て行わされました。当日本はみぞれ混じりのあいにくの天候でしたが、350名ほどの方々のお越しをいただき、盛大に行わせていただきました。

フォーラムでは、「タニータ食堂」で有名な（株）タニータの管理栄養士である堀越理恵子氏を講師に招き、正しい食生活と健康との関係について講演いただきました。また、本学学生とかほく市民などが作る健康づくりサークル（「ワクワク健康サークル」）の活動報告では、老若男女が励まし合って健康を気遣いながら自身の健康力を高める意義が語られ、「健康なまちづくり」に向けた意見交換が活発に行われました。

フォーラムの最後には、学生が宇ノ気給食センター様と連携して創作した「健康弁当」が披露されました。「血液サラサラ健康弁当」と「美容・美肌健康弁当」は、今後かほく市のイベント等で販売されることがあるかもしれません。私ども研究室は、これからもかほく市の健康づくりのお役に立つことができればと考えております。

伸び縮みしないものかと考えて、試行錯誤のうえ開発した製品があります。県から経営革新計画の承認を受けた新商品は農業資材をはじめ幅広い業界から注目されています。そのきっかけ

桜井 一昨年の震災を契機に停電や暗闇に対する意識が変りました。有事の際、明かり大変貴重なものと感じるようなり、「光るゴム」の問題を決し、なんとか困っている人

かほく発 公開フォーラム

「かほく発みんなで支える 健康なまち」を終えて

かほく登

公開フォーラム 「かほく発み

みんなで支える
健康なまち「」を終えて

石川県立看護大学 垣花 涉

